営農ウィークリー NEWS

注意報発表







8月25日、京都府病害虫防除所より「病害虫発生予察注意報」が発表されました。京都府の8月中旬の巡回調査によると、葉いもちの発生は平年比多く、穂いもちの発生は平年比やや多いとのことです。

管内においても、いもち病が散見されています。適期に防除して病気が広がるのを抑え、収量確保を目指しましょう。

ヒノヒカリ、祝などの発病しやすい 品種や、すでに葉いもちが多発してい る圃場は、特に注意して薬剤防除を行 ってください!

とにかく、いもち病!

フラシンフロアブル

【適用	内容】(2021年3月10	日現在)						
作物名	適用病害名	希釈 倍数	使用液量	使用時期	本剤の 使用回数	使用方法	フェリムゾン を含む 農薬の 総使用回数	フサライド を含む 農薬の 総使用回数
	いもち病 ごま葉枯病	1000倍	60~150 %%/10a			散布		
	穂枯れ (ごま葉枯病菌)	300 倍	25 %%/10a			阿 文473		
稲	褐条病 変色米 (カーブラリア菌)	30 倍	3 ½/10a	収穫7日	2回以内	m-#-+	2回以内	3回以内
	(エピコッカム菌) (アルタナリア菌)			前まで		空中散布		
	稲こうじ病 内穎褐変病 もみ枯細菌病 墨黒穂病	8倍	800ml/10a			無人航空 機による 散布		

農薬の使用前には、必ずラベル等で登録内容の確認をお願いしたします!

ウンカやカメムシ防除も一緒に! フラシンジョーカーフロアブル

_	【適用囚犯	孚】(2020 年 10 月末日現在)					April
	作物名	適用病害虫名	希釈 倍数	使用液量	使用時期	本剤の 使用回数	使用方法
		いもち病 ウンカ類 ツマグロヨコバイ カメムシ類	300倍	25 ¦%/10a			散布
		いもち病 ウンカ類 カメムシ類	8倍	800ml/10a			無人ヘリコプターによる散布
	稲	いもち病 ごま葉枯病菌) 変色米(アルタナリア菌、エピコッ カム菌、カーブラリア菌) もみ枯細菌病 相こうじ病 相こうじが ガンメイガ ウンカ類 ツマグロヨコバイ カメムシ類	1000倍	60~150 ⅓%/10a	収穫 14 日前まで	2回以内	散布

-TAC information- <

水腦。介於山沙類対策を忘れずに!!



了多一夕小红河

散布適期は、出穂7日~10日後です。出穂とは、 圃場全体の40~50%程度出穂した状態のことを いいます。水深を3cm 程度にすることが大切です。 京都府病害虫防除所による8月の発生予報では、 カメムシ類⇒「やや多」と発表されています。また、JA管内の西南部地域を中心に発生している ミナミアオカメムシも生育地域を拡大し続けております。出穂後、必ず防除を行ってください。

農薬の使用前には、ラベル等で登録内容の確認を必ず行ってください!



3 病 第 2 1 号 令和3年8月25日

関係各位

京都府病害虫防除所長(公 印 省 略)

病害虫発生予察情報について

下記のとおり発表しましたので送付します。

ネギ、豆類(黒大豆、エダマメ、アズキ)、野菜類 病害虫発生予察注意報第3号

病害虫名 シロイチモジヨトウ 作 物 名

加書時期 発生地域 11月まで 府内全域

平年比多い

6 注意報発令の根拠

(1) 8月中旬の病害虫巡回調査において、ネギでの本虫幼虫発生量は小株で平年並、大 株で発生を認めている(表1)。被害株率は過去10年間で最も高い(+)(表2)。

		-	表1 ネキでのシロイチモショ・ワ初風新生株調金(8月中旬)	でのシロ	イナモン	当トワ初	班番生物	利金(8	月甲制)				
株の種類	項目	R3	平年値 R2	R2	R	H30	H29	H28	H27	H26	H25	H24	H23
*	幼虫数(頭/株)	0.01	0.03	0.11	80.0	0.13	000	000	0000	0.00	0.00	0.00	0.00
45.5	著生樣率(%)	1.3	1.5	20	2.6	4.0	0.0	6.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
+	幼虫数(頭/株)	011	ı	0000	0,00	0.07	0.03	ı	í	ı	ı	ı	ı
*	春生株率(%)	85	ı	8	8.0	50	30						ı
*/-#-	*/\``````````	***	40cm	•									

表2 ネギでのシロイチモジョトウ被害株調査(8月中旬)

項目	콦	平年値 R2 R1	콦	꼰	H30	H29	H28	H27	H26	H25	H24 H23	H23
被審排率(%)	12.3	1.6	3.5	2.6	4.0	8	60	00	8	0.0	8	0,0
被害発生ほ場率(%)	57.1	17.9	43.8	60.0	50.0	0.0	25.0	0.0	00	0.0	0,0	0.0
* 小楝(葉長40cm未満	大りを(子業)称	(40cm以上)の平均個	년) 0 년	七达							

- (2) 8月中旬の病害虫巡回調査において、アズキで本虫幼虫の発生を認めている(+)。
- (3) フェロモントラップへの誘殺虫数(7月第4半旬~8月第3半旬の合計値)は、京田 の過去3年間の各平均と同程度となっている。(図1)。 頭)、京丹後市で 48.4頭(平均:48.0頭)と平成30年から調査を開始した2地点 辺市で 97.0 頭 (平均 24.7 頭) と多い (+)。また、亀岡市で 68.6 頭 (平均:66.8

7 防除上の留意事項

- (2)性フェロモン剤による交信攪乱や黄色蛍光灯を組み合わせた防除を考慮する。 (1) 中老齢幼虫の薬剤感受性は低下する。また、ネギでは葉の内部に潜り込むと薬剤に よる防除効果が低下するので、ほ場をこまめに見回り、若齢期に防除を行う。
- (3) 被害薬及び収穫残さは本種の発生源となるので、残さは一箇所にまとめて積み上げ
- (4) 本種は寄主範囲が広く、ネギ以外に豆類、野菜類、花き類を加害するので注意する 表面をビニル等で被覆する等、適切に処分する。
- (5) ネギでの薬剤散布は表3を参考に、使用薬剤は異なる系統のものを用い、同一系統 験の結果は、平成29年9月21日付け「病害虫発生予察注意報第4号」を参照のこ の薬剤の連用は避ける。なお、病害虫防除所で平成29年に実施した薬剤殺虫効果試

(6) 農薬を使用する際には、使用基準を遵守して適正に使用する。最新の農薬情報は農 https://www.maff.go.jp/j/nouyaku/n_info/index.html 林水産省ホームページの「農薬コーナー」の「農薬情報」で確認すること。

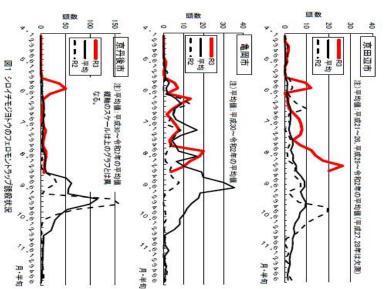




写真 シロイチモジヨトウ幼虫(左)と卵塊(中)、ネギの被害(右)

・参生前コード、授生前の有効成分を作用点と作用機構から分類した著号や記号のことで、本コードが異なる業剤を使用することにより、同一系統の策剤の進用を防ぐことができる。 ▼*作用機構が不明めるいは不明確な業剤

**PB40の分類に設当しないもの

が加書する最	露地の場合:100~500本(20cmチューフ)/10a	解答の場合:100~	1	基~紫蓝	(調番)	ヨトウコン-S		
がたらが	1-EE 9 0.	上海 トーナナ 資水		10年本を少りに公正が10分			交信かく乱剤	
野菜類で登	:支障のない高さに支持棒等を立て支持棒 を巻き付け間守し遭遇に配置する	の生育に	1	対象作物の栽培全期 Mar		コンフューザーV		
		1			1,000倍	ブレオフロアブル	UN **	
	3回以内	散布				プロフレアSC		
	2回以内			収穫7日前まで		グレーシア乳剤	30	
	*国以内) 国以内)	教布	3回以内	収穫3日前まで	2,500~5,000倍	ヨーバルフロアブル		Š,
	3回以内	散布	3回以内	収穫7日前まで	2,000~4,000倍	フェニックス顆粒水和剤		
	し、株元灌注は1回以内())	株元灌注	1	収穫7日削まで	±(0.5L/m/)			
	4回以内(定種時までの処理は1回以内(但以内、定権後の処理は3回以内(但			育苗期後半~定種当日	400倍	ベリマークSC		
	以内、定種後の処理は3回以内(恒し、株元灌注は1回以内))		MYMBS		2,00018	ベネビノのD	28	4
	4回以内(定植時までの処理は1回				2004	44.1		
	4回以内(灌注は1回以内、敷布は3 回以内)	散布	3回以内	収穫3日前まで	2,000倍	プレバソンフロアブルS		10
	2回以下		Mが周Z	交産選回外の	1,00018	アクセルフロアフル	228	134
	2回以内			2.3		ファイントリムDF		
	2回以内	散布			1,000倍	トルネードエースDF	22A	The second
	A) A) 2回以内 2回以内 2回以内 2回以内				1,000倍	アクセルキングフロアブル	21A (22B)	1
	2回以内	数布	2回以内	収穫7日前まで	1,000倍	ハチハチ乳剤		
	3回以内		3回以内			ロムダンフロアブル		
	2回以内					ルケエロCベロルオプ	18	
	3回以内				2,000倍	マトリックフロアブル		
	2回以内					ノーモルト乳剤		
	3回以内						15	
			30000			アなプロン引起		
	20111111		の間には			コーツコロアブル	20	
	_	数布		脱臼主接	掛0001	300ペシノーロC		
野米規で登録		改布		発生制期 (但し、収穫前日まで)	1,000倍	デルフィン顆粒水和剤		
30 H	-	费书	'	(但し、収穫前日まで)	1,000倍	ゼンターン顆粒水和剤	11A	
		10x10	'	(但し、収穫前日まで)	1,000,1	14/2/2		
	(MPS	+		発生初期				
	8) 4回以内(但し、灌注は1回以内、散布は3							
	3回以内 クロラントラニリフロール(ブレハ・ソン: IRACコート・2	数布	3回以内	収穫7日前まで	2,000倍	ポリアムガンダム顆粒水和剤	(28)	
	14977.X总管限值(177~A:11000.1~ 1 ⁶ 6)							
	3回以内	数布	3回以内	収穫3日前まで	1,000~2,000倍	アニキ乳剤	6	
	#/IX#2(+7+:11/AG2-1-1-15) 3回以内							
	17/9チン安息音標準(777-A:IRAC2- ド6) 3回以内 117997/7=4・IRAC2-ド15)	数布	3回以内	収穫7日前まで	1,000~1,500倍	アファームエクセラ顆粒水和剤	(15)	
				収穫7日前まで	1,000~2,000倍	アファーム乳剤		
	2回以内	散布			5,000倍	717+SC		
	内が回窓		3回以内	3.半単日8動か	5,000倍	スピノエース顆粒水和剤	л	
	9) 4回以内(但し、漢法は1回以内、表布は2 回以内)(ステルト、IRACコードルト 4回以内(但し、は獲今の上集形し、資格 4回以内(但し、は獲今の上表布は会計 1回以内、生育のの与来源は1会計 1回以内、生育のの表示法は1日以内 表示の公理機の株元教育は台計2回以 科)	祥	10	定植前日~定植時	100倍 0.5に難詳/ セルトレイ、ペーパーボット	キックオフ顆粒水和剤	(28)	
	内、定植後の処理は3回以内) クロラントラーリフロール(フしハンフ・IRACコート・2							
	必欠、権労等の工業者相及の定権自日をでの検売報告は合計・国以内) での検売報告は合計・国以内) シアントラリアロール(ペギピアOD:IRAC3ード 28) 4回以内(旧し、定権等までの処理は・国以	株元散布	10	育苗期後半~定蘊当日	40g/ せルトレイ、ベーバーボット	アベイル粒剤	(28) ·	
	アを笑了り、(モスト・ラン:IRACコート・4A)							
	4回以内 (狙し、は健時の土壌黒和、育苗トイへの 選注及び定種時の株元散布は合計・回以 丸、生育期の株元撤注は「回以内、散布及 び定種後の株元散布は合計2回以内)	灌注	10	定植前日~定植時	50倍、 0. 5に崔注/ セルトイ、ベーバーボット	スタークル顆粒水溶剤 (アルベリン顆粒水溶剤)		
	2回以内	散布	2回以内	収穫7日前まで	1,000倍	テルスター水和剤		
	2回以内	散布	2回以内	収穫21日前まで	1,000倍	アンボンをW		
	内が何の	数金	SHIMM	の 機 7 相 期 まで		35	>	
	5回以内					型		
	4回以内		4回以内		Ш			
iii W	態春田回譯	使用方法	存田回季	(中部年)	- 体展集(竹和3年8月	数3 ネギ」でシロイチモショトウに登録のある主な義業(会和3年8月11日現在) 「日現在3年8月11日日東日本3年8月11日日東日本3年8月11日日東日本3年8月11日東日本3年8月11日日東日本3年8月11日日東日本3年8月11日日東日本3年8月11日日東日本3年8月11日日本4年8月11日日本3年8月11日東東の8月11日東東部日本3月11日東東京日本3年8月11日日本3年8月11日日本3年8月11日日本3年8月11日日本3年8月11日日本3年8月11日日本3年8月11日日本3年8月11日日本3月1日日本3月11日末月末日末日末日日本3月11日末日末年末日末日末日末日末日末日末日末日末日末日末日末日末日末日末日末日末	IRACI-K*	